

津高

## 津高校だより

令和2年度 第5号 編集・発行 三重県立津高等学校

## 自分の夢を叶えるために次のステージへ ～1年間、ありがとうございました。

3月1日、令和2年度の卒業式を挙行し、卒業生は仲間と過ごした津高での日々を胸に刻み、新たな人生のスタートを切りました。新型コロナウイルス感染防止対策の影響で、時間短縮を行い、規模を縮小して実施できました。地域のみなさまには、この間のご支援に厚く感謝申し上げます。(卒業式：3月1日)



## 科学教育の中核的拠点として

## 「みえ探究フォーラム2020」(2/14)



津高校と三重県教育委員会の共催で「みえ探究フォーラム2020」が今年度はオンラインで開催されました。コロナ禍で実験・実習が制約される中においても、探究活動を地道に行った県内の中学生、高校生が1年間かけて行った成果を発表し、お互いに活動の評価を行っています。コロナ対策として発表会場に集まる形式をやめて、発表動画をオンラインで視聴するというICTを活用した初の取組となりました。口頭発表部門は31テーマ(中学校からは2テーマ)、ポスター発表部門は33テーマ(中学校からは2テーマ)で、自然科学、社会科学、人文科学に対する様々な研究が集まりました。



## 第73回卒業式 ～ 伝統を託し、新たな旅立ち

3月1日、359人の卒業生は自主・自律の伝統を後輩たちに託し、津高第73回卒業証書授与式に臨みました。新型コロナウイルス感染防止対策のため、在校生の参加は送辞代表者のみとなりましたが、新たな人生の門出として、記憶に残る式典となりました。

## 第73回卒業証書授与式

卒業式では、新型コロナウイルス対策の影響で在校生の参加が見送られ、保護者も1家族につき1名の参加となるなど、大幅に規模を縮小する形となりました。体育館の窓を開放して換気を徹底する対策をとりましたが、好天にも恵まれた中で、式典が進められました。各クラス担任による卒業生の呼名の後、代表生徒の綾野さんが卒業証書を受け取りました。



校長先生は式辞で、卒業生の成長と門出を祝うとともに、「『誠実に生きる』このことを生涯、心に持ち続けてほしい」、「人との出会いやつながりを大切に、互いに尊重し、支えあいながら人生を歩んでほしい」、「自らの目標に向かって、あきらめることなく、夢を持ち続けてほしい」との期待を述べました。

卒業生代表の勝井さんは、在校生送辞に応え、コロナ禍の休校期間中に考えたことを話してくれました。「津高の『自主自律』という言葉の意味を再認識し、自分で今ここにいる意味を見出していくことが津高から学んだことです。」と学びの大切さと知識の楽しみ方感謝の言葉で語りました。吹奏楽部の生演奏はできませんでしたが、退出時の音楽を録音したCDを流し、演出に花を添えてくれました。



## 「卒業を祝う会」～140年にわたる歴史と伝統

卒業式前日に、同窓会に「卒業を祝う会」を開催していただきました。冒頭の祝辞の中で、飯田同窓会長からはコロナ感染症について在校生に与えた影響を含め、今後の社会について説明をいただいた。特に危機管理の必要性を強調され、生きる力を今後高めて欲しいと説明されました。山中伸弥教授の「Vision and Work hard」の言葉を引用して、卒業生にエールを送っていただいた。「今年度に創立140周年を行う予定で、記念の学年となるはずであったのですが、コロナ禍の中で行事縮小、来年度に延期となり残念でした。しかし、津高校同窓生のつながりはとても強いのです、これからも社会を支えていってほしい」との言葉をいただきました。卒業生代表は謝辞を述べるとともに、これからの抱負や意気込みを語りました。



## SSH児童・生徒研究発表会 ～ 発信する力

今年度スーパーサイエンスハイスクールの活動集大成となる成果発表会を2月6日に分散形式でリモートを使用して行いました。1、2年生の全員が参加し、三重大学教育学部が運営するジュニアドクターに参加する中学生の研究発表も同時に行われました。



例年は、ポスター発表で体育館、武道場、口頭発表は教室を使用しましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、発表会場を8会場、発表班を各教室で10班に分けました。各会場では発表時間を3分割、班を3グループに分け、発表する班を含んだ1グループが発表教室、他2グループが他教室でリモート参加する方式をとりました。外部からの参加者で、会場で発表を聞くのはSS探究の授業を支援するTA、ASとなり、その他の参加者はリモートでの参加となりました。三重県総合博物館の寺村善樹主幹からは、「津高校の探究活動の特徴は、身近なテーマを選んだ後、必要な科学的手法の範囲（文系や理系、選択科目等）の制約を決めず深めていくことが特徴である。現在、世界に求められて創造されるものは、分野毎の境界を越えて新しいものを創ることであり、津高校の探究活動がそれにあたりとを感じる。」という講評をいただきました。

## 1年生研究発表会 ～ 探究の基礎的な学びの成果

1年生は1月29日にポスターセッションによる研究発表を行いました。探究活動の基礎を学ぶ目的で行った試行的テーマ研究の成果76本をグループ又は個人が発表しました。「じゃんけん勝ちやすい手は？」のようにユニークな研究発表が多く、探究活動Ⅱでは更なる深化に期待したいと思います。



## 部活動等の成果報告

### 剣道部

令和2年度三重県高校剣道新人大会  
男子団体 5位

### ハンドボール部

令和2年度全国高等学校ハンドボール選抜大会東海高等学校選手権大会  
三重県予選会 男子 5位

### ボート部

三重県高等学校体育大会ボート競技  
男子舵手付きクォドブル  
女子舵手付きクォドブル  
男子シングルスカル 長谷川 恵大  
女子シングルスカル 小西 由華  
文部科学大臣特別賞を受賞

### 水泳部

三重県高等学校体育大会水泳競技  
女子100m平泳ぎ 金山 愛和  
文部科学大臣特別賞を受賞

### 第32回読書感想画県コンクール

高等学校 指定読書の部  
矢田 陸人 : 最優秀賞  
森 彩音 : 優秀賞

### 書道部

第29回国際高校生選抜書展  
津高校 : 東海地区準優勝  
池田 千春 : 秀作賞  
第19回全国書道展  
池田 千春 : 特選  
第48回三重県高等学校文化連盟  
書道部門生徒・教員展  
東 桃永 : 特選

